

普寛霊場秋季大祭

秋天一碧、素晴らしい天候の下。

十月十日、埼玉県本庄市に在る普寛霊場の秋季大祭が執行され、地元行政、観光、産業界等のご来賓をはじめ関東各地よりの参拝者で賑わいました。

柴崎正雄普寛堂々守はじめ多くの講社先達信者による行法が厳修され、普寛堂の本殿祭には井上慶山管長、鴨下清司埼玉県教区庁長等による神事が斎行されました。

斎庭では関東各講社による行法が披露され、多くの先達・信者・参拝者で賑わいました。

斎庭中央において井上管長による神剣秘法が修法され、柴崎堂守はじめ講社先達により柴燈護摩が焚き上げられ、火渡りが修法されると多数の善男善女が先達に続いて火渡りを行い、感謝と喜びの内に納められました。

普寛霊場に祀られている普寛霊神は、享保 16 年(1731)秩父に生まれ、天明・寛政年間に各地の霊場で修行された。

木曾御嶽山表山王滝口を開かれて御嶽開山霊神として数々の奇蹟を施され、多くの弟子を育てられました。

享和元年(1801)、本庄の地で入寂し、弟子たちによって普寛堂が建立され、普寛信仰が広まっていきました。









